

東京後楽ロータリークラブ週報

The Rotary Club of Tokyo Koraku Weekly Report



インスピレーションになる

「ロータリーを味わおう！！」

2018年～2019年度 会長
藤田 哲朗

「インスピレーションになろう」

2018年～2019年度 国際ロータリー会長
バリー・ラシン

2018年7月10日発行 (No. 871)

第871回 例会

「クラブフォーラム」

～創立20周年記念式典分科会～

CLUB NEWS

- ◆ 7月度定例理事会報告(7月3日開催)
 1. 会長所信表明・理事メンバー紹介
 2. 本年度予算案・年間行事予定について
共通経費を東京小石川 RC と折半することを決定し、事務費の増額と予算案を承認。年間行事予定も承認。
 3. 7月31日「クラブ協議会」について
翌週のガバナー公式訪問に備えて、出席者の確認を行い、席次も確定させる。発表のリハーサルも行う。
 4. 8月7日「ガバナー公式訪問」について
詳細は、前週のクラブ協議会にて取り決める。
 5. 8月21日の卓話について
会員増強月間なので、委員長を中心に増強について全員で考え発表する例会とする。
 6. 退会希望者について
退会希望の武居修二会員の慰留に努めたが、やむ無く遡って6月末付けでの退会を承認。(本多 記)

前回例会

第870回例会

「新年度初例会・クラブ協議会」

出席状況

第870回例会

出席 31名 欠席 9名
 ビジター 7名 ゲスト 1名
 松田義幸氏・本村哲氏(東京小石川)
 阿部博司氏・須江節雄氏(東京小石川)
 茶木泰風氏・平野正俊氏・原英達氏(東京小石川)
 ジャン・イーウェイさん(米山奨学生)
 出席率:81.58% 前例会修正後:86.84%

ニコニコBOX

松田義幸氏(東京小石川):ご協力に感謝を込めて。

阿部博司氏(東京小石川): 畠山会長・志熊幹事、御苦勞様でした。藤田会長・菊池幹事、宜しく!!
 本村哲・須江節雄・平野正俊・茶木泰風・原英達氏(東京小石川): 本年も宜しくお願ひ申し上げます。
 藤田会員: 新年度スタートです。皆様のご協力宜しくお願ひ致します。

畠山会員: 藤田会長・菊池幹事、1年間頑張ってください。又、家内の為誕生日お祝有難うございます。

村田会員: 藤田会長・菊池幹事、1年間身体を大切に頑張ってください。20周年記念行事もあります。素晴らしい記念行事になりますよう会員一同頑張りますよ!

福田会員: 畠山前会長、志熊前幹事、ご苦勞様でした。藤田会長、菊池幹事、1年間宜しくお願ひします。

金子会員: 藤田新会長・菊池新幹事、1年間宜しくお願ひします。

金子会員: お誕生日のお祝ひありがとうございます。長與会員: いよいよ藤田会長、菊池幹事、年度の始まりです。一年間あつと言う間ですよ! 頑張ってください。

工藤会員: 藤田新会長・菊池新幹事、1年間宜しくお願ひします。

榎戸会員: 藤田新会長、ご就任おめでとうございませう。畠山前会長におかれましては、1年間ご苦勞様でした。

正田会員: 藤田さん、菊池さん、1年間宜しくお願ひします。

石毛会員: ついに古希を迎えます。今までの誕生日とは違う気がします。

佐藤会員: 女房の誕生日を祝って頂き有難うございました。ミオンミールズ: 2,406円 本年度合計: 124,578円

例会案内

7月17日 「歴代会長に聞く!」①

住田・大牟田・戸部 元会長

TEL: 03-5940-3355 FAX: 03-3947-4010 E-Mail: koraku@mint.ocn.ne.jp

例会 毎週火曜日12時30分 / 東京ドームホテル 電話: 03-5805-2111

事務局 〒112-0014 文京区関口2-10-8 藤田観光(株)別館内

会長 藤田 哲朗 / 幹事 菊池 修一郎 / 会報委員長 戸部 昇

URL <http://korakurotary.com>

第868回 次年度委員長の方針発表②

甲斐会員増強委員長・出席委員長

2007年に増強委員長をしました。その時、会長経験者と幹事と親しい方5名ぐらいでグループを作りコンペティションを行いました。予算を申請して、各グループで1万円のミーティング費用を用意し、2人を例会場に連れてきて一人は入会してもらうということで、4名の増強ができました。20年むかえるに当たり50名にするには9名の増強をしたいと思います。皆さんのご協力をお願いします。副委員長に、長與さんがいますのでご協力ください。退会防止にも力を入れます。出席率向上にも協力ください。

佐藤米山奨学委員長

米山奨学会は昨年で50年を迎えました。米山記念奨学事業は勉学や研究のために日本に在留している外国人留学生に対して、全国ロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援しております。金銭的な支援だけでなく世話クラブ・カウンセラー制度などロータリアンとの交流を深め奉仕の精神や人生観・職業観など深い理解が生まれると思っております。また日本の文化・経済・治安の良さ・食や水の安全などにふれて世界平和を望む日本人との架け橋、伝道者になって国際社会で活躍していただけると確信しております。日本の明るい未来のためにも支援を続けて参りたいと思っております。この事業は毎年700名程度の米山奨学生を支援するため日本のロータリアン1人あたり平均2万円のご寄付が必要となります。活動1.普通寄付金、会員1人あたり5,000円とする。2.特別寄付金として会員の皆様に目的を十分に理解していただき平均額の2万円をクリアして3万円を目指して努力する。3.今期は、中国からの米山奨学生 張 軼威（ジャン・イーウェー）さんとの交流・支援をする。

石毛職業分類委員長

クラブの皆さんには、19年間お世話になっているのは事実かと思っております。私が何かをすることによって皆さんのお力添えになればいいかと思っております。それが奉仕の一つなのかと最近では思っております。職業分類は入会がないと活動がありません。甲斐会員増強委員長だけでなく、皆さんが全員増強委員と思っ一人でも多くの会員が増えればいいと思っております。よろしく申し上げます。

工藤職業奉仕委員長

ロータリーの目的第2は「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする」とされており、これこそが職業奉仕の土台となるものです。自分の職業を通じて社会に奉仕するということであり、職業倫理運動と捉えられます。具体的な活動としては、ロータリアン行動グループへの参加、親睦活動グループへの参加、奉仕プロジェクトで食料スキルを活用、地区リソースネットワークで専門知識を活かす、職業に関するロータリー友情交換に参加等が例示されていますが、本年度は、職業奉仕委員長として大牟田会員、同委員として正田会員、中島会員が地区にて活動されることとなっておりますので、一層、地区との意見交換を深め、クラブとしての具体的な活動を充実させていきたいと思っております。個人的な意見として、職業奉仕はロータリーの金看板とか昔から日本のロータリアンで良く言われています。今R Iの方針では職業奉仕がなくなって、極端に言うと家庭の主婦でもロータリアンになれるという方針です。そうするとR Iの方針としては職業奉仕を重要視していない様で日本では今までそうではなかったわけで、それに反発して違和感を感じるという構造になっています。これは日本だけなのかと良く解らなくなり他の国・地域でR Iに対してどういうふうになっているのか、他の国・地域で職業奉仕を重要視していないのであれば、今のロータリーまさに職業奉仕なんかいらぬのではというふうにも考えられます。そういう問題提起もあるということ卓話でも通して皆さんに認識して頂いて勉強できるかなと思っております。

木津社会奉仕委員長

社会奉仕委員会の活動は通例行事として、文京区エリアの幼稚園、保育園へのお絵かき用紙の配布、年末の親子ふれあいコンサートを考えております。特に、親子ふれあいコンサートにおいては、地区社会奉仕委員会の方針にある“学ぶ自分自身・委員会・クラブメンバーが学ぶ”を实践させていこうと考えております。

具体的には、経験者を中心に作業を分担し、そのグループに入会経験の浅い会員が参加することで、クラブの社会奉仕活動を理解してもらい、社会奉仕活動を通してクラブ全体を盛り上げていきたいと思っております。実際に、数年前より準備委員会を設け良い結果を生んでいますので、今年度はさらに良い結果が出せるように考えていきたいと思っております。次に、本年度は後楽ロータリークラブ20周年にあたります。10周年の記念事業としては文京区に電子掲示板を贈呈させて頂きました。20周年記念事業では、地区社会奉仕委員会の方針の二つ目にある“調べる・これまでに感謝し変革を誘発する”を踏まえてクラブの歴史や伝統について知る機会を設け、地域社会に貢献できる記念事業をしたいと考えております。

戸部会報委員長

金子会長の時に予算をつけテープ起こしが行われるようになりました。担当は福田、榎戸、畠山会員の4名で行います。テープ起こしをまとめなければなりませんので、順番を決めて活動してまいります。また担当の方から新入会員の方にも、お手伝いいただきみんなで会報を作って行くのも良いと思っております。校正することでロータリーのことも良く解ります。身近な勉強の方法としてご協力ください。

菊川親睦委員長

ゴルフ会を最低3回、7月20日に現会長と幹事慰労会・サラさん送別会・新入会員歓迎会を開催します。炉辺会議を先輩と新入会員たちがロータリーのことを勉強する機会として早い時期に開催します。

萩原震災支援委員長

当クラブとしての震災支援は一昨年、東北の少年野球チームへの支援活動に一区切りを付け、現在は被災地に対する継続的な支援活動は行っていません。東日本大震災から7年が経過、その後の熊本地震から2年が経ちましたが、クラブとしての今後の支援活動には慎重な議論が展開されました。これはクラブ単位の支援活動が、どうしてもその規模から支援の地域と対象者が限定されたものになり、一定の集団への支援の域を脱しえないことにもよります。本年度はこういった知識と経験を踏まえて震災支援への方向性をまず話し合い、今後クラブの支援に対するコンセンサス作りから進められればと思っております。

尹 世玲国際奉仕委員長

国際奉仕活動はクラブ内の運営が充実し、会員相互の理解と協力により幅広い事業展開をすることが理想と考えます。これまで行っております活動はもとより、当クラブは今期設立20年目を迎えるにあたり、これまでの活動を引き続き行うとともに、2期に亘り行ったグローバル補助金活動の経験を基に、今期は実施クラブとしてグローバル補助金申請に取り組みたいと思っております。会員の皆様のご理解ご協力をお願い致します。

主な活動内容

- 1) アジア文化会館との交流（学園祭、盆踊りへの参加）
- 2) 姉妹クラブである台北景福ロータリークラブとの交流
- 3) 国際大会（ハンブルグ大会）参加の呼びかけ
- 4) 例会での中国語レッスン
- 5) グローバル補助金申請を企画実施していく活動

